

わ
輪を和でつなぐ

広報

しまはち通信



Shima8 news



爽やかな風

私は、1991年医師2年目のときに、都立八王子小児病院にやってきました。縁もゆかりもなかった八王子が第二の故郷になりました。2011年4月に島田療育センターはちおうじは、歩みを始めました。

2025年3月末で所長を退任することになりました。

13年間は、あっという間でした。しかし、2023年11月に特発性間質性肺炎になってからは、正直なところ簡単ではありませんでした。症状が日々変わっていくため、朝、その日の体調と相談しながら、その日の行動を考えました。2024年12月からは、歩くことをあきらめ、車いすでの生活を余儀なくされました。

そんな状態でも仕事を続けることができたのは、私を支えてくれた患者さん、親御さん、スタッフのおかげです。外来では、患者さんや親御さんが励ましてくれ、涙してくれました。スタッフは、私の面倒な頼みをいやな顔一つせずに、積極的にサポートしてくれました。地域の方のサポートもありがたいものでした。

病によって失ってしまったものはありませんでしたが、新たに見えてくるものもありました。病と向き合い、患者さんや親御さんの気持ちに少し近づけた気がします。この病は、そのために神様が私に届けてくれたのかもしれない。

今、私の心には「爽やかな風」が吹いています。この風を届けてくれた方々、ありがとうございました。4月からは、名誉所長として引きつづき働きますので、これからもよろしくお願いいたします。

—今までの感謝の気持ちを添えて—

2025年3月

島田療育センターはちおうじ所長 小沢浩



からふる報告

6月22日（土）に「からふる（発達障害児支援）」の理学療法士担当イベントとして「しまはちランド2024」を開催しました。

障がいのある子ども達にセンター備品を活用し、普段の生活では経験しにくい様々な遊びを体験できる機会を提供すると共に、センターの役割や魅力を知ってもらおう機会といたしました。

当日は、4つのアトラクション（電動移動機器体験、ブランコ・ハンモック、ボールスイング、スモールサンダーマウンテン）とミニコンサート（音大ボランティア：アートピア様のご協力）にお配りしたスタンブラリー表を持参していただき、7家族23名が参加されました（申込者：12家族40名）。

各アトラクションでは、子ども達の笑顔や初めての体験でドキドキした表情、「もっと遊びたい!」と強く訴える表情など色々な反応がみられ、改めて子ども達の経験することの大切さを実感しました。また、ミニコンサートでは素敵な歌声だけでなく、参加型のプログラムをご用意して下さい、子ども達だけでなくご家族も一緒に楽しませていました。

次年度も開催予定のため、また多くの子ども達の笑顔に出会えることを楽しみにしています。



【リハビリテーション科 理学療法士 黒川 洋明】

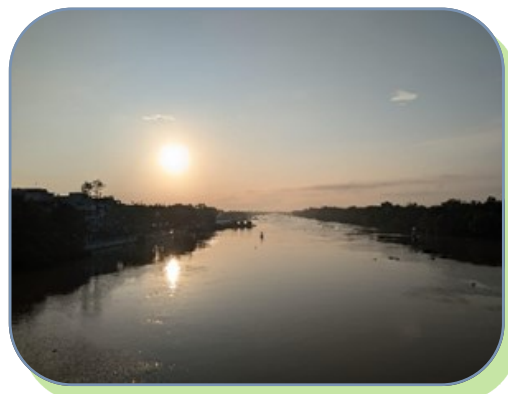


ベトナム研修報告

7月28日～8月4日にかけて、SVCA（ベトナムの子ども達を支援する会）ベトナム交流ツアーに参加しました。準備の段階からソワソワして緊張しながら参加しましたが、現地の方々、SVCAツアーの仲間と貴重な経験を共にすることができました。

研修は、主にCBR（Community Based Rehabilitation）班に参加し、ベンチェ省内の村で学校につながっていない障がい児の家庭訪問をしました。また、SVCA代表の板東さんとともにスペシャルベビーハンドブックのミーティングにも同席させていただき、人と人とのつながりによる国際協力の現場を肌で感じる事ができました。今回出会った皆様に、感恩。

【診療科 井之上 寿美】





ベトナム研修報告

7月28日から一週間ベトナムの子ども達を支援する会のツアーに参加をしました。島はちからは3名参加し障がい児センターの見学や、病院の視察、障がい児学校などを訪問しました。街から離れた村の重度の障がいのあるお子さんのご家庭を訪問し身体や発達、生活についてご家族からお話を伺うことができました。現地の理学療法士、支援学校の先生も交えてどのようにサポートできるかを考えていきました。



発達支援センターでは「療育」とはなに？というテーマでの講習会を行い日本での取り組みを紹介しました。ベトナムの皆さんも暑い中メモを取りながら熱心に聞いておられました。ベトナムの人の温かな心に触れたツアーでした。



【通所科 加藤 志保】



通所



餅つき交流会

年の瀬に八王子実践高校野球部とアストロジャガーズの方々をお招きし餅つき交流会を実施しました。臼に熱いお餅を入れて順番に交代しながら餅つきが始まりました。

野球部の方々は流石のパワーで力強く杵で餅をついてその迫りに利用者の皆様も自然と見つめられていました。アストロジャガーズの方々も声を掛け合い一体で協力し合う姿が印象的でした。

利用者様も杵を持って餅つきに挑戦されて皆さんと会話で交流を深めつつ元気よくお餅をついていました。完成したお餅は鏡餅にして皆さんと完成を喜び合いました。交流会によって和やかな空気で良い年末を迎えることができました。

【通所科 小山 峻介】



節目を祝う会

2025年1月10日(金)に20歳と40歳の節目を迎えられた方をお祝いする催しである節目を祝う会を行いました。今年は20歳の方1名と40歳の方2名の計3名の方が通所利用者や島田療育センターはちおうじスタッフ一同、母校の先生など多くの方からの祝福メッセージを受けられ、笑顔と涙がみられた素晴らしい会となりました。

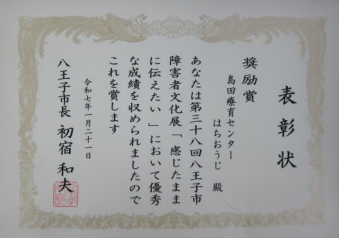
午後はヴァイオリンやピアノ、ユーフォニアムによるお祝いの演奏会が行われ、素晴らしい演奏にみんなでうっとりしながら聞きほれてしまいました。

【通所科 一条 昌宏】



障害者文化展

「感じたままに伝えたい」第38回八王子市障害者文化展に、今年度もみんなで作った作品を出展しました。今回は以前からボランティアでお世話になっている画家のSatolyさんにご協力いただき、「猫」と題して9つのキャンバスから成る猫の絵を描きました。手に絵の具を付けただけの時には少しひんやりと感じましたが、Satolyさん達と一緒に絵を描いているうちにあたたかな気持ちで作品作りをすることができました。そんな「猫」は見事奨励賞を受賞し、1月の展示期間中、展示ホールを鮮やかに彩りました。



【通所科 児玉 裕】



ほっとひといき

そう、思い返せば3か月前、弘前城の東側に手頃な物件を見つけました。築26年。

運動不足も兼ねてほぼ毎日散歩しています。定番のコースは弘前城をぐるりと。

近所にはどんな方が住んでいるか不安もありましたが、思い切って良かったです。

たいした物は持っていませんが、やっと段ボールを半分ほど片付けることができました。

今までと違う景色。不安だからこそ希望も芽生えるのかも。なんて思ったりもします。

食材をコープあおもりで買った帰り道、まだ山頂が白い岩木山が見えました。あとひと月くらいで花見をし、それから山登り、そしてねぶた祭・秋はりんど。いや、りんどだけじゃない、様々な味覚も楽しもう！

よくよく見たら他にもっと良さそうな物件の広告が。



くう～どうしよう。息抜きにスーモを見て、将来住んでみたい家を見つけては妄想(逃避)しています。

【医療福祉相談科 工藤 忠幸】

おしらせ

information

「輪を和でつなく」
著者：小沢浩
発行所：クリエイツかもがわ
価格：2000円（税別）
発売中です



島田療育センターはちおうじ 小児診療



- ・各種 予防接種を行っています。予約制となりますので、詳しくはお電話でお問い合わせください。
- ・発熱など風邪症状のある方は、ご来院前にお電話でお問い合わせください。感染症対策のため、ご協力よろしくをお願いいたします。

■診療内容

こどもがかかりやすい病気（発熱や嘔吐・下痢など）の診察・治療を行っています。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●		
13:45~14:45	予	予	予	乳	予		
15:00~17:00	●	●	●	●	●		

予... 予防接種 乳... 乳児健診
*土日の他、祝日も休診となります



TEL. 042-634-9008

